

第90回東伏見スポーツサイエンス研究会

日時 2024年11月13日(水) **16:00~17:30**
場所 早稲田大学79号館(STEP22)402室

演題

アメリカの運動部をお金の観点からレポートする

谷口輝世子(在米ジャーナリスト)

抄録

日本では部活動の地域移行が始まっているが、活動に必要な指導者と資金の確保は容易ではない。日本と同様に学校で部活動を行っているアメリカでは指導者とお金を確保しているのか。教員と外部指導者が指導にあたっていることは日米で共通しているが、彼らが誰にどのように雇用され、どのくらいの対価が支払われているのかは、日本とは異なる。活動の主な財源は公金であるが、外部からもお金を調達していることがアメリカの特徴といえるだろう。これらについて現地在住ライターとして取材、経験したことをもとに具体的にレポートする。

プロフィール

京都教育大学教育学部体育学科卒業後、スポーツ紙で日本のプロ野球を担当。1998年から米国に拠点を移しメジャーリーグを担当。2001年からフリーランスのスポーツライターに。現地に住んでいるからこそ見えてくる米国のプロスポーツ、子どものスポーツをレポートしている。著書に『お金から見るアメリカの運動部活動』、『なぜ、子どものスポーツを見ていると力が入るのか—米国発スポーツペアレンティングのすすめ』(生活書院)、『帝国化するメジャーリーグ』(明石書店)など。



アメリカの運動部活動は
どのような仕組みで
運営されているのか

その歴史と現状を、教員を含む運動部指導者の労働の観点と
運営にかかる資金という観点から詳細にレポート。
日本で部活動の地域展開、子どものスポーツ活動に携わる人たちにも
大きなヒントを与える、必携の書!

■谷口輝世子(2024)

『お金から見るアメリカの運動部活動
—活動を支える人と仕組み』



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 宮下 政司・石津達野・安永太地
早稲田大学 スポーツ科学学術院
E-mail: yasunaga.taichi@aoni.waseda.jp